

教員氏名	成瀬 正春	職位	教授
最終学歴	岐阜市立岐阜薬科大学大学院薬学研究科 修士課程修了		
学位	医学博士(名古屋市立大学) 薬学修士(岐阜薬科大学)		
役職	学 長	所属学会	日本繊維製品消費科学会
担当科目	「被服材料学」、「衣食住ビジネス概論」		
研究分野	生活科学、 健康・スポーツ科学、 被服衛生学、 被服材料学		
現在の研究テーマ	衣服着用時の快適性に関する研究、 衣服着用による皮膚障害の研究		
教育方法の実践	<ol style="list-style-type: none"> 1. 衣服材料学の講義においては、生地見本を履修学生全員に配布し、実物を見ながら学習できる授業環境を作っている。また、文献資料よりコピーした図表を配布し、学生には配布された図表を材料として、自分自身のノートを制作し、理解が深められるように指導している。 2. 授業中 に受講学生が発言できる状況作りに努めている。コメントシートに授業に関する質問・意見を記載してもらい、翌週に 回答する方法で、履修学生の修学度の把握に努めている。 		
作成した教科書・教材	「被服材料学」の授業で使用する教材として、『アパレル生理衛生論』（日本衣料管理協会発行）および『アパレルと健康』（井上書院発行）を作成した。		
教育研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 1. (共著)「ウール肌着地の繰り返し洗濯による物性変化と改良について」『繊維製品消費科学 第54巻第11号』（2013）1004-1009 頁 2. (共著)「衣服の百科事典」丸善出版株式会社（2015）372-373 頁 3. (単著)「衣服着用による皮膚障害の発生と対策」『繊維機械学会誌 第69巻第11号』（2015）579-584 頁 4. (共著)「被服学事典」朝倉書店（2016）368-369, 371-372 頁 5. (共著)「食器洗浄作業時における既存厨房服着用が身体に与える影響」『繊維製品消費科学 第58巻第1号』（2017）74-79 頁 6. (共著)「おりものシートの着用評価と着用刺激感に与える影響」『繊維製品消費科学 第60巻第2号』（2019）133-143 頁 7. (学会発表)「着装形態別にみた靴内気候の快適性評価方法の提案」日本繊維製品消費科学会 2013 年年次大会（椋山女学園大学：2013. 6. 22-23） 8. (学会発表)「既存厨房服とトレーナーにおける洗浄作業時の作業効率」日本繊維製品消費科学会 2014 年年次大会（京都工芸繊維大学：2014. 6. 28-29） 9. (学会発表)「既存厨房服と防水着における洗浄作業時のストレスの測定」日本繊維製品消費科学会 2015 年年次大会（信州大学：2015. 6. 27-28） 		
受賞歴	なし		
社会的活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本衣料管理協会監事 2. 日本繊維製品消費科学会東海支部幹事 3. 日本 TES 会中部支部幹事 		
競争的資金の獲得	なし		
実務の経験を有する者についての特記事項	なし		

